

岐阜県ポーランド交流協会主催 日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業

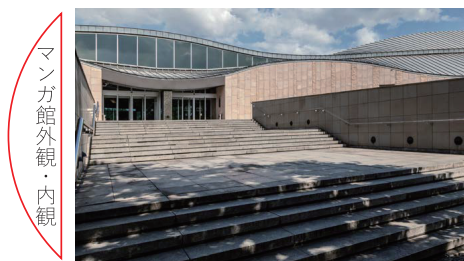
2024(令和6)年、中山道広重美術館とポーランド共和国クラクフ市にある日本美術技術博物館マンガ(以下、マンガ館)は友好協力協定を結びました。これを契機に、2025(令和7)年度から岐阜県ポーランド交流協会主催「日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業」が始動します。この事業は、恵那市教育委員会と中山道広重美術館が共催する「広重賞恵那市こども版画コンクール」の中学生部門で優秀な成績を収めた生徒をポーランドへ派遣し、マンガ館への視察および同館付属日本語学校の学生と文化交流を行うものです。

事業名	日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業
主 催	岐阜県ポーランド交流協会
事業目的	①ポーランド共和国との文化交流の推進。 ②市内の児童青少年が大人になっても郷土を誇れる、心に残る貴重な経験を積み重ねて、世界に誇れる人材を育てる。
対 象	「恵那市こども版画コンクール」中学生部門の受賞者
人 数	2名 ※上位者から優先的に権利を得る(ただし、権利者が特別賞以下となった場合は抽選による選出)。
渡航先	ポーランド共和国マウォポルスカ県クラクフ市、日本美術技術博物館マンガおよび同館付属日本語学校
渡航時期	2026(令和8)年3月下旬 ※春休み期間
費 用	中学生の渡航費、滞在費等は岐阜県ポーランド交流協会が負担。
同行者	恵那市職員、美術館職員等
その他 条 件	①コンクールエントリー時に、保護者の同意を得て「渡航承諾書」を必ず提出すること。 ②渡航前に行う美術館での説明会に必ず参加すること。 ③渡航時手配のため、選定後速やかにパスポートを用意すること。

※青少年交流事業は、公益財団法人伊藤青少年育成奨学会の助成を受けて実施します。

日本美術技術博物館マンガについて

日本美術技術博物館マンガは、日本文化を広めるポーランドの国立文化機関。美術評論家、フェリクス・『マンガ』・ヤシェンスキによって収集された日本美術コレクションを収蔵品の中心とし、保存・展示をしています。日本美術品の展示の他、日本文化に関わる幅広い活動を展開しています。



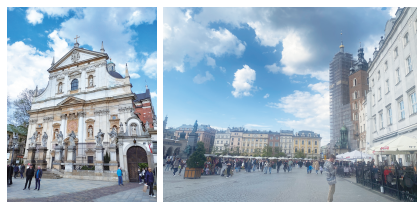
▲日本美術技術博物館マンガ正面玄関
写真: Rafal Sosin



▲「広重展」開催時の展示室内



▲ヴァヴェル城



▲クラクフ市の街並み



日本美術技術博物館
マンガHP



クラクフ市公式HP